



この住宅にはまったく性格の異なる二つの「縁側空間」がある。居間から連続する軒内の空間は、正面に広がる風景を切り取り、自然と人間がしっかりと対峙できるようにしつえられた静の縁側空間である。深い軒の出にもかかわらず、効果的にとられたトップライトによって心地良い明るさのある外部の部屋になっている。もう一つの縁側空間は道路からやや閉鎖的な南側の壁をくぐり抜けるところにある屋上テラスである。ゲストを迎えもてなすための第二の居間として機能するコミュニケーションの空間でありながら、人間が自然の中に溶け込んでしまうような感覚を与える空間である。

設計/矢板久明・上野武
施工/丸山工務店
構造/木造、2階建
竣工/1992年7月
所在/長野県北佐久郡

1995年7月1日発行 (季刊)

ディテール

季刊・夏季号

DETAIL

建築の詳細
1995-JULY

125

特集 住宅の縁側空間

「土佐の恵みと技」を生かした設計手法 / 上田堯世
自然と呼応する空間回路 (東京都現代美術館)
現代素材を組み込んだ木造表現 (妙壽寺庫裡)

新連載

素形のディテール—空間表現と構成部材
行為と空間作法

連載

鉄を生かした表現
風景をつくる緑の手法

